

令和7年度使用中学校用教科用図書（「教科名 美術」）の採択結果等について

広島大学附属三原中学校

種目	発行者	採択理由
美術科	光村図書	<p>○基礎・基本の定着に関わって</p> <p>必要な場面に応じて基礎・基本に関わる内容を参照しやすいように別冊「美術1資料」の作成や、「美術2・3」巻末へのQRコンテンツ一覧の掲載もある。また、表現題材に「みんなの工夫」の制作過程が示され、見通しをもちやすい。</p> <p>○主体的に学習に取り組む工夫に関わって</p> <p>デザイン題材では、問題解決につながる発想段階における作者の言葉や様子が掲載され、視点や過程を参考にできる。鑑賞題材においても、紙面だけでなく、QRコンテンツによる作品への書き込みや、拡大による細部鑑賞もできる。また、作家の制作風景と作品の並列掲載により、社会との関連も想起しやすい。</p> <p>○内容の構成・配列に関わって</p> <p>別冊「美術1資料」の活用による必要に応じた参照や、紙面だけでは不明確な技法の過程や作品の詳細等をQRコンテンツ活用により確認できる。また、美術史用語の解説もあり、段階に応じた選択的な活用が可能である。加えて、SDGsに関連する作例が幅広く掲載され、関連付けて作品に込められたメッセージを考えるページも設けられ、「美術2・3」には、SDGs解説動画もある。</p> <p>○内容の表現・表記に関わって</p> <p>主題名や発問などの言葉や太字の丸ゴシックで表記の周りに余白をもたせて気づきやすくしたり、主要な作品は作品以外の情報を極力排した掲載によって、純粋な作品鑑賞をしやすくしたりするなどの工夫が見られる。また、QRコンテンツにおいては、鑑賞の主要作品について高精細画像や立体作品における360°写真、解説動画等が設けられており、中学校3年間の表現技法の参考となる技法動画も網羅され、学習内容に応じた活用がしやすい配慮がされている。</p> <p>○言語活動の充実に関わって</p> <p>各題材の冒頭では、見やすい主題名の提示や、表現につながる鑑賞作品の掲載、「POINT」や吹き出しを活用した対話につながる発問の複数掲載がされ、活動の充実につながる。また、参考となる生徒作品の掲載に加え、表現内容や意図と工夫に関わる作者の言葉が具体的に記され、作者自身が語る様子を動画でQRコードから視聴でき、生徒が作品について話す際にも参考にできる。</p> <p>○本校の研究に関わって</p> <p>本校の美術科では、自分や他者の感じ方や考え方を大切にする表現・鑑賞活動への取り組みや、自分なりの意味の創造を目指している。そのため、多様な作品や制作過程の様子を含む生徒作品に関わる意図・工夫の掲載、発問の提示、基礎的な技能面への手立ての充実などは、他者への関心や認識を広げ、自己の表現を追求して、感じ方や考え方を深めることにつなげられる。</p>